

年 組 名前:

# 学習会子の居場所に

## 都留「少しでも生きやすく」

都留市内の住民や大学生らでつくる「あすなる学習会」は、子どもたちの居場所づくりや学習支援に取り組んでいる。通う子どもたちは不登校や学校での学習に不安を感じている。代表の羽田秀子さん(68)は「みんな多様で複雑な思いを抱えながらもがいている。少しでも生きやすくなるよう支え続けたい」と話している。

〈赤池悠〉

7月25日の午後7時過ぎ、東桂地域コミュニティセンターに小中学生らが続々と集まってきた。机と椅子が並ぶ一室で、それぞれ持ってきた夏休みの宿題や問題集を解き始

めた。集中できずにおしゃべりを始める子もいれば、互いに教え合いながら勉強を続ける子もいる。羽田さんは「年齢が上の子が下の子の面倒を見る姿をよく見るようになった。成長が実感できる瞬間」とほほ笑む。

東桂地区の学童保育で指導員をしていた羽田さんの元



子どもたちの勉強をみる羽田秀子さん(都留・東桂地域コミュニティセンター)

(2023年8月8日付 山梨日日新聞 14面)

「自分の考えが否定されないから、安心して人と話すことができる」と語る。保護者が悩みを抱えるケースもあるという。相談を受ける中で、自らを責め続ける保護者の姿も見てきた羽田さんは「子どもにも保護者にも悩みがあつて、その背景には多様な事情がある。学習会がその『逃げ場』になればいい」と願っている。

### 問1

「あすなる学習会」は、何に取り組んでいる団体ですか。

.....

### 問2

「あすなる学習会」は、いつ行われていますか。また、だれが何人、利用していますか。

・実施曜日: ..... ・だれが何人利用: .....

### 問3

代表の羽田さんは、どのような行動で微笑み、また、どのような心がけをしていますか。

・行動: .....

・心がけ: .....